土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一般国道487号道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）に伴う仮設道路修正設計及び用地測量業務委託

事業名 または 工事名　一般国道487号 道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）

調査目的及び調査対象　道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	BorNo.1	**調査位置**	広島県呉市音戸町早瀬一丁目			**北緯**	34° 09′ 20.4427″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 12月 9日 ～ 2020年 12月 14日	**東経**	132° 29′ 38.4737″
調査業者名	株式会社セトウチ **電話** 0846-29-1720	**主任技師**	藤原 泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	**現場代理人**	藤原 泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	**コア鑑定者**	藤原 泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号
ボーリング責任者	向井 忠司 地質調査技士 登録番号: 第15354号						
孔口標高	T.P. 11.63m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
使用機種		**試錐機**	YBM YSO-01				
総削孔長	14.00m	**エンジン**	クボタ EA10	**ポンプ**	YBM SP-40		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
1				礫混り砂（盛土）		暗褐	rd2			深度0.50mまで植物根が混入する。 礫は深度0.5mまで細礫主体、以深は2～50mmの角礫主体となる。 全体的にマサ土主体で、やや細粒分を含む。			3	1.15 1.45	1	1	1	3/300							
2	8.88	2.75											5	1.45 2.15	2	1	2	5/300							
3	8.63	3.00		礫		灰				硬質な花崗岩の礫で、L=15cmの棒状コアで採取される。 2.95mから全逸水する。			33	2.45 3.00	16	13	4	33/300							12/10
4													4	3.30 4.15	1	1	2	4/300							
5				砂質土（盛土）		暗褐～茶褐	rd1			マサ土主体。φ30mm程度の礫が僅かに混入する。 深度5.5～7.4mの間は茶褐色の細粒分が混入する。 深度7.6～7.7mは砕石。			3	4.45 5.15	1	1	1	3/300							
6													3	5.45 6.15	1	1	1	3/300							
7	3.93	7.70									12/12 7.30 ▽		4	6.45 7.15	1	1	2	4/300							
8				強風化花崗岩		淡黄灰				採取コアは極く脆弱で指で割れつぶれる。 おおむねマサ土化しており、岩内部まで変質がみられる。			26	7.45 8.15	6	8	12	26/300							
9											12/14 9.30 ▽		44	8.45 9.15	10	14	20	44/300							12/11
10	1.63	10.00											56	9.45 10.15	15	18	17/70	50/270	270						
11				風化花崗岩		淡黄灰				おおむね固結したマサ土状だが、一部でコアパックを開くと土砂状に崩れる。 岩盤等級はD級であり、軟岩に相当する。			79	10.42 11.15	23	27/90		50/190	190						
12													88	11.34 12.15	24	26/70		50/170	170						
13													65	12.32 13.15	21	22	7/30	50/230	230						
14	-2.37	14.00											94	13.38 14.15 14.31	24	26/60		50/160	160						12/12